

神戸聯合會大會(順序)

◆日時 四月三日午前正九時
◆會場 下山手六丁目青年會館

- 一、開會宣言 議長
- 二、各種大會委員並書記選任 委員長
- 三、代議員資格審査委員會報告 委員長
- 四、友誼團體の祝辭及祝電朗讀 議長
- 五、各組合の情勢報告 各組合長
- 六、聯合會事業並に會計報告 主事
- 七、法規建議案會計豫算各委員會の報告 各委員長
- 八、各報告に對する質問應答
- 九、各議案審議
- 一〇、役員選舉
- 一一、閉會の辭 議長

宣言 (草案)

日本の労働運動に一新時機を劃せんとする労働總同盟全國大會の決議に基き、吾が神戸聯合會大會は次の如く宣言する。

今や日本の資本家階級とその政府とは、吾等の躍進的解放運動の發展に畏怖し、陰險陋劣なる偽購政策を講ずるに至つた。即ち警官、軍隊、神官、僧侶、御用學者その他有ゆる反动勢力を動員して、所謂思想の善導に狂奔し、一方には社會運動取締法の如き惡法を制定して假借なき彈壓の刃を向けると共に、國際労働代表選出方法の改良、労働組合法の制定或は又近く普通選舉を實施するが如き事により、日本の労働運動を極力改良主義の方向に導き、以て斷末慮に瀕せる資本主義の擁護に努力しつつある。

階級意識に目覺め組合に團結したる吾等は斷乎として支配階級の陰謀に應戰すると同時に無自覺なる労働大衆を組合組織の中に吸収し、他方には農民運動、水平運動等の無産階級運動との間に完全なる理解と協力を進め相率ひて共同戦線に立たねばならぬ。

資本家階級とその政府との投する改良的社會政策と雖も、一度階級意識に目醒め組合に團結したる吾等は之を利用し、逆用することを躊躇するものではない。只彼等の術中に陥り多年の苦闘と、幾多同僚の犠牲によつて築いた階級意識と闘争の精神を失ひ、最後の解放の目標を忘れて改良主義に墮落するの危険に對して不斷の警戒を必要とする。

纏つて神戸地方の情勢を見るに、工業労働者の多數を包容する川崎、三菱、鐘紡、鈴木製鋼等の大企業は、強大なる政治的権力を背景として絶えず頑強なる組合禁壓の策を取つてゐる。大會は彼等の横暴を糾弾すると同時に、神戸五萬の未だ組織されざる労働者諸君に訴ふ。諸君は眞に自己の利害に目覺め速に組合運動に参加せなければならぬ。而して川崎の獨裁主義を廢絶せよ。三菱の鴉的工場委員制度を改造せよ。鐘紡の温情主義と二重賃銀制を打破せよ。鈴木の一時雇傭制の好策を擊滅せよ。而して他の有ゆる群少工場主の横暴を絶滅しなければならぬ。

労働階級の勢力の集中と共同戦線の擴大を急務とする秋に當り、少數資本家階級の走狗は、精神主義組合組織を標榜し、或は金力に依り、或は情實に依り、斷へず吾が神戸の組合運動界に蠢動してその擾亂を企て、以て資本家階級と官憲の乘する機會を作らうとあせつて居る。大會は此種の反动運動を排除し撲滅する事を、大人氣なしとして容赦することを許さない。

巷に投げ出された失業大群の叫び聲は、今や慢性的となり世の注意を惹かなくなつた。而しそれだけ彼等の苦痛は深刻であり、死の影は深い、燃ゆるが如き人類愛によつて結ばれたる吾等は極力失業の防止に努力すると同時に、失業者の救済に就ては最高の努力を拂はねばならぬ。即ち組合は自ら全國的職業紹介機關を設置し、之が敏速なる運用を計ると共に資本家階級とその政府を強要して最善の施設をなさしむべきである。

經濟闘争の戦線を鞏固にするためには産業別組合組織を完成し、政治闘争の方面に於ては街頭上より更にブルジョア議會にその戦線を延張するの準備を整へ、教育の方面に於ては組合は自ら無産階級教育を創造し、ブルジョアの奴隸教育の毒杯を粉碎すると共に、調査宣傳各機關の活用に努め組合員及組合外の労働大衆の覺醒と奮起を促すことは刻下の重要事である。

今や大労働争議以來三周年、惨敗の創痕漸く癒へ同志が永き惡戰苦闘の漸く報ひられんとし、て會勢日に盛んなるの時に當り、吾が神戸聯合會大會は、悲壯なる當年を回顧し同僚の貴い血を染められたる組合旗の下に、互に血を啜り天日を指し、最後の勝利に向つて堅實なる歩を進める事を宣言する。

一九二四年四月三日

神戸聯合會大會

大會労働問題大演說會

◆日時 四月三日午後七時

◆會場 新開地勸業館

辯

全日本抗夫 總聯合會長 麻生 久君
法學士 河野 密君

堺聯合會 主事 平井美人君外一名
尼崎合同村 尾 君外一名

士

關西労働 同盟會主事 藤岡文六君外二名
大坂聯合會 鍋山貞親君外三名
京都聯合會 半谷玉造君外二名

岡山縣労働 組合主事 板野勝美君
神戸聯合會 主事 青柿善一郎君外十餘名

主催 日本労働總同盟神戸聯合會